

三十三

農商務省
圖書
第二〇七號
共七二冊

和書門
八四二四
七二
類號函架冊

內閣文庫
和書
八四三四
七二
類號冊架函

內閣文庫	
番號	和 8424
冊數	72 (4)
函號	196 190

本草圖譜

山草

四



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



本草圖譜

本草圖譜卷之八目錄

明治十二年購求

山草類

白茅

ちがや

地筋

あがつかや

芒

すき

一種

まますき

一種

まますき

龍膽

いんたう

五

茅

まますき

一種

たのむすき

一種

あがつかや

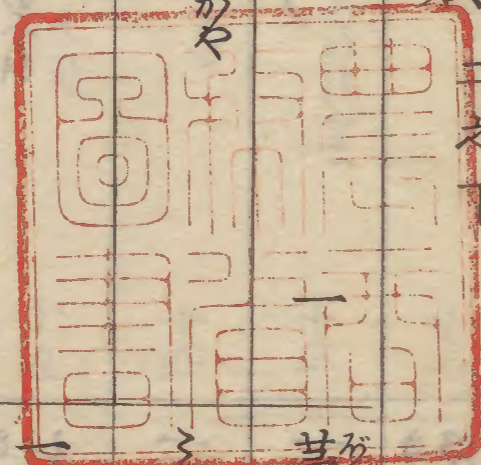
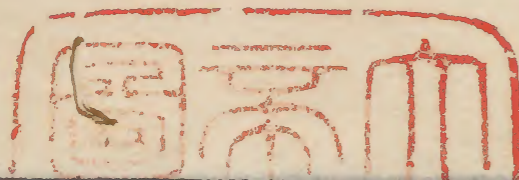
一種

糸すき

一種

白花

四



本草圖譜

卷之八目錄

一 龍胆

一種	草津之産	一種	清園降毒	六
一種	あけまんぼう	細辛	唐細辛	七
一種	うすむぎのま	一種	日光山産	八
一種	加茂あひ	杜衡	かんあひ	九
一種	青莖	一種		
一種	らんま	一種	せんむ	十
一種		及巳	ふりまづ	
樟耳細辛	ゆきりょう	一種	深紅花	
十一				

一種	碧花	鬼督郵	くまむ	
一種	かよのむぎ	一種	あいざねむ	
一種	ゆみぢむのはぐま	一種	かうりさ	
一種	たまぶき	一種	兎兒傘	
一種	日光山之産	一種	ゆづり	
一種	さどら	一種	紫背のむぎ	
除長卿	ふなごら	白微	あわむら	
一種	ほろか	一種	いよか	
十六				
十五				
十四				
十三				
十二				
十一				

本草匯言 卷之八 目録

一種	かひあはれ	十九	白前	のかむ	十八
一種	ふさたちをま	二十	一種	肥後白前	十九
釵子股	ちうえ	廿一	百兩金	ひのこ ひのこ ひのこ 白	廿二
硃砂根	まんてん	廿三	一種	木たちをま 紅實 黒實	廿三
紫金牛	まぶかうど	廿四	一種	まぶかうど	廿四
拳參	いぶせ 伊吹まろのを	廿五	一種		廿五

本草圖譜卷之八

東都

岩崎常正著

山草類

二之下

五十六種



白茅
あはれ

葉の背を白く似て紅い
四月花を生ず白
穂とまろをまるとり

本草圖譜

卷之八

白茅

一 清園隱菴

茅
かや



地筋

地筋

蔵器の地筋
葉並根は黄
細多毛生平
澤山生也
日光山生也



あまのりや

葉の芒は似て
薄く一穂を
生れ穂を
生れ根細鬚
あつて長時
診の詭は葉
之根也よる見あり



芒
すき

一種

たうろ七すき



一種

たまたすき



一種

あつひすま
又さびた
すまの葉長
大ゆき冬
枯ば



一種

またあめすま
穂を生いさると早く五月なり



一種

つすき

即ち石芒なる穂の色紅色多



龍膽

つえだう



山野の生人
莖高二尺
許花の形桔梗に似て内紫色外淡根は白薇に似て
黄白色味苦一種尾刈細長葉のあり又種漸大葉のあり
あ又種水澤中か生するものあり其の花根は常品と同一

一種

白花のつゝ葉微圓くあり莖綠色なり



信州草津野州見山加別白山寺小生す
 楚直年無頭粉綠色四月花を翻内外
 深碧色根根七葉黃白色上出す

一種

浅るつゝ花とす

深山陰處に生じ莖蔓の如く葉薄く三縱道ありて
 冬葉より花龍膽の如く白色後紅色の葉を結ぶ根白
 色不細く蘘頰の説山龍膽其葉經霜雪不
 凋此同類而別種といふの是類なり



一種 ちひつえなう

陽地あり小草なり苗二寸の
過り春月花あり形つえなうの如
くして甚小根短小なり先筆の記
本草綱目の石龍膽を充るものなり



細辛

俗に唐細辛と呼ぶものあり
葉の加茂あり似て後理
り水蘘の形あり似て微
米あり一葉或は二葉生
葉間の花を三瓣あり
形壺の如く紫褐色根細
し辛し上高なり又肥後
細辛と呼ぶものも類と
上高なり



一種

うすむ 細辛 俗

唐細辛より葉薄くして
稍大なり又上品なり



一種



野別日光山に産す其の肥後細辛の
似て稍大の長あり頗る紋理あり

一種 加茂あひひ



城州常州筑波野州日光山等
あり葉の大さの二三寸ありわつ二葉つ
はひ花淡紅色雷敷の託二雙葉の
のこりてあれあつ

一種 青莖の物



杜衡 かえあひひ

山中陰地は冬不凋
葉の形馬蹄に似て小紋
裡なく花の細辛に似て紫
色なる根の細辛に比ぶ
あまがさ

一種 葉長とあるもの



一種 兒ふ俗

葉の形似て
の如く
三尖あり
深緑
色あり
中々深緑
筋脈あり

一種 せむむ

葉正圓して
真う光澤あり

一種 御紋おんもん細辛こしん俗

葉の形七たむら
其分杜衡類甚多



及已

ふろあづか

山の隈に生ずる
頭は四葉對生
玉孫の草の如く
花穂は白色絲
の如く此類小異
あり葉の脈は
茎は緑紫の別
根は細辛に似
香氣あり



獐耳細辛 名釋

コニクニク

佐州の産花の色深紅
或碧色或白色その
花紅なる多し正月
葉の先は花あり
二月葉をばり三火
根細辛に似て細



深紅

白花

碧色

鬼督郵
そふま



深山より生く車葉の
そふまと呼ぶの上は
一葉直平頂の八九
葉つらの一葉の葉木
の似て又葉の葉中
短の葉を挿し蒼白
細き花あり黄白色後
白色の花の根は
及己の似て長

一種 かじりのそふま

武州 飛鳥山及大箕谷邊あり
前種に似て葉の形柵葉の如し



一種

敬山木

葉木芙蓉花似
小葉紫色花穗
七小



一種

のちのほま

葉の形種は似て切を深く紫色を帯び
花穂枝多し花細瓣紅色巻曲す



一種 かづりのこま

葉の形縮つた
飛の如く互生花の
前種に似て種々
後白茹と云ふ



一種 たまごづき

野州日光山にあり莖高さ二三尺
秋冬葉の似て顔三尖あり花の蔭
莖に似て白色葉の間に零餘子
の如き実を生ず



兔兒傘 トウニ 本草 花部

處處山中みある葉の蕪蕪に似たり
似て花の色は白の如し



一種

野州日光山の産



兔兒傘

一種 めいごころ

奥州野州のそとあとのりとのみ
嫩苗を食ふ其の八角金盤に
似て小く軟く互生し花はたま
るるに似し此物故荒本草蘭
蒿の圖に似たり



一種 了了子

山陰中津の素吾の葉の
似て甚小く花はたまに似て
細小なり

一種 紫背のこぶ

紀州和州豆州
房州等あり苗地は掘り葉は房の形正
淡緑色の斑紋あり葉背紫なり





除長卿

山野陽地にあり葉細く長さ三寸許柳葉に似て對生葉の五瓣の淡紫花を開き角を結ぶ形薔薇に似て細長なる根の細軟に似て香氣あり



白微

陽地にあり葉の細く似て毛茸あり葉の長さ三寸許長すねの蔓を有し花五瓣紫黑色角の除長卿に似て大なる

一種

野州日七山^ノア^リあり葉大さ^ノ柳^ノ如^ク圓^クあり梢^ハ四葉^{あり}つる^は紫^色花^を開^き解^く集^りつる^は此^ノ類^ニ種^{あり}



一種



白微

一種

いよかづら

葉の形が似て蔓生
なる紅花を櫛蹴と
す



一種

かひあづら

水澤の地やけの葉の形
葉の形が似て蔓生
なる紅花を櫛蹴と
す





白前

のむむ

本草
和名

肥前の大津あり葉の白微紅く似て厚くして小く光澤あり莖
 高さ三尺攢蔓の如く花五瓣淡綠色形白微と同根白色白微の如く

一種

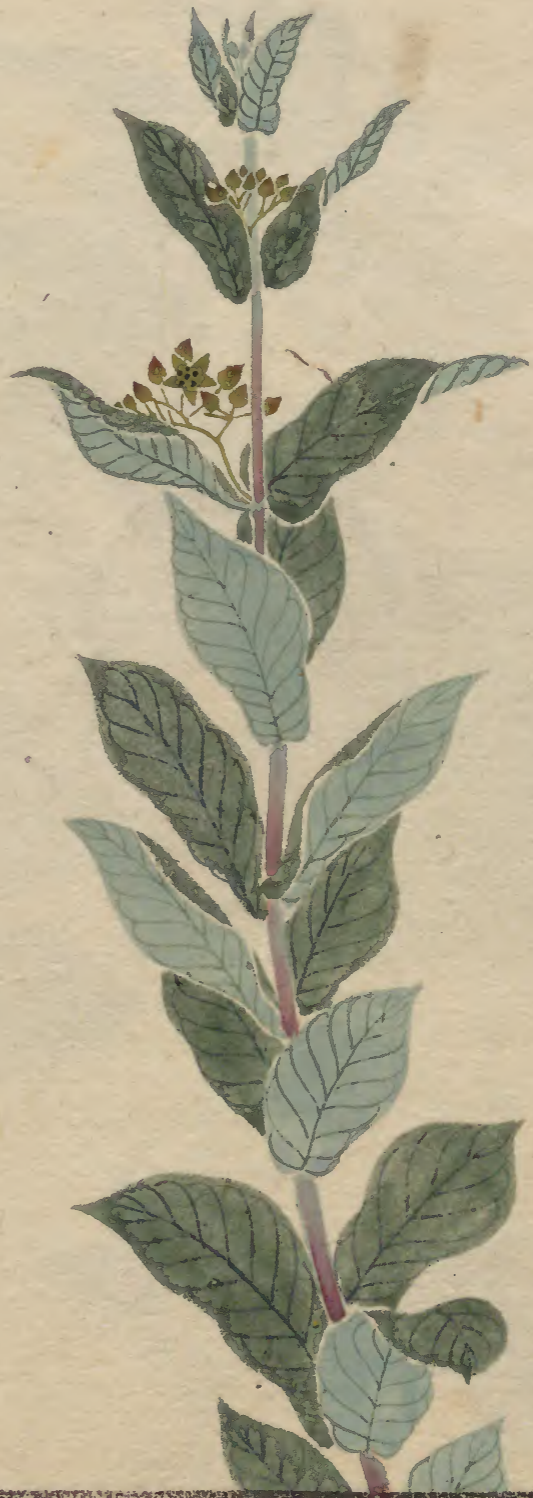
くさなちを



葉の白微紅く似て
 長く莖直立し五瓣
 白花を帯く形白前
 似て大なり

一種 肥後白前 俗

二種あり圓葉のもの白前に似て若緑色長葉のもの白微かに似て被下葉
高三四尺花五瓣黄緑色 獲頌の説の葉似莞花と云ふは此物
即秋荒本草の雨天兒菜なり



釵子股 あうらね

北州及琉球等の暖地はあり木石より生ずる葉圓く水松に似て
硬く互生し茎間の花を胡く形蘭花に似て小く紫色なり根は蛇蝎状
の如くして綠色或は灰色なり



本草綱目 卷之六 七 澤國 丹 白前 釵子股 十一 陸國 丹

百兩金 の母多し
なちなふ 戸江



黄の

品類甚多し人家多し我て
玩賞に潮葉狭葉長葉短
葉光澤あるの淡緑色のもの
等あり花は白色實は紅色の
もの常品あり淡紅色黄色
白色紫色等のものあり

紫實

白實

ほろが

硃砂根 三七

是三七之類ありたれども
肥大なり花白色実も黄白
あり根淡紅色なり



一種



木たあまふ 暖地あり
三七の屬なり七枝幹肥大
兼り又大なりと厚く花実共
三七より小似く小実紅く
黒く二品あり

紅實

黒實



紫金牛
やぶかぢ

大葉のりをまきまきかぢ
とら茶葉に似て薄く大
なる品類多し

一種

はるかぢ
葉小や七毛茸あり



拳參

伊吹のり

江州伊吹山に産す葉の形大文字
 華の如くある人々のいふところ
 全く紫参と同類なりた葉狭
 長なり根の屈曲しと蝦の形をなす
 肉滑紅色なり莖は二尺許花穂
 馬葱の如く似て淡紅色なり



本草圖言

卷之八

下

漢國



本草圖譜卷之八終

